

“相生市のクロコノマチョウ（その2）”

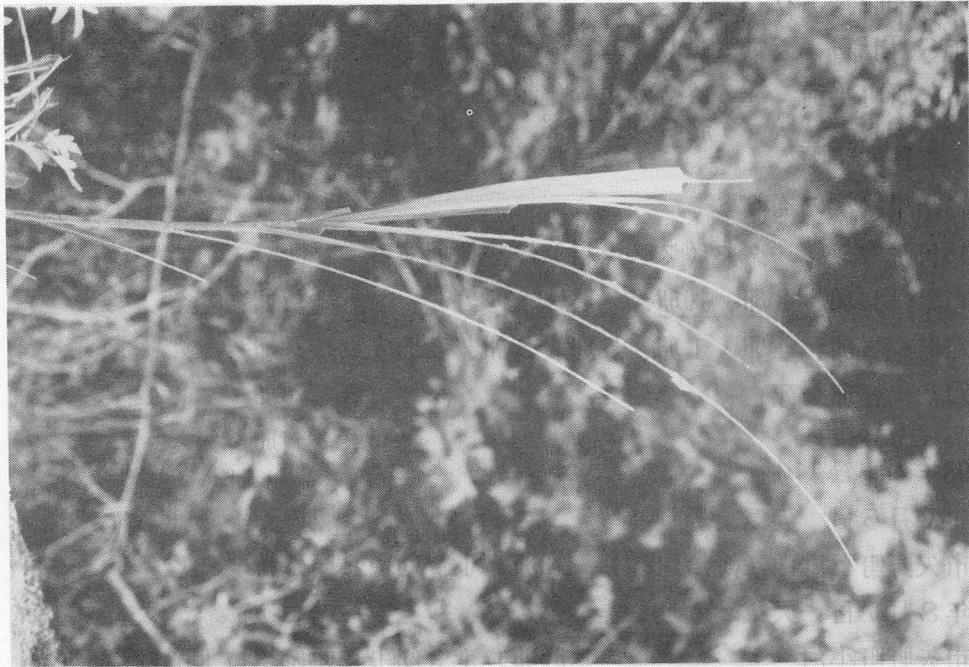
唐土 洋一

1988年8月28日、オナガアゲハの食樹である「コクサギ」を相生市矢野町三濃山（鍛冶屋谷）へ取りにいった。コクサギの近くにススキの小群落があり、なんとはなしにススキを見たところススキの顔部一帯の葉が何者かによって丸坊主にされているのではないですか。一体何がススキの葉を食べたのだろうかに興味本意に、加害されたススキを上から下へ、下から上へと入念に観察したところ、ススキの葉裏にクロコノマチョウの終令幼虫がいるのではないですか。結局、この場所を含め、6ポイントで合計2蛹、29幼虫を発見したが、3幼虫のみ3令であとはすべて終令幼虫であった。8月30日より次々と蛹化してゆき、9月7日より14日にかけて羽化した。

《内訳》

$$31 = 7 + 13 + 8 + 3$$

┌───┐ ┌───┐ ┌───┐ ┌───┐
│ │ │ │ │ │ │ │
└───┘ └───┘ └───┘ └───┘
蛹で死亡 (4♂♂、4♀♀) 取込み
放蝶 (5♂♂、8♀♀)
知人へ (3蛹、1♂、3♀♀)



丸坊主にされたススキ

〒678 相生市青葉台6-29
1988.9.1 記